

趣意書

鳥取県鳥取市鹿野町で使われなくなった学校施設等を利用して一五年に渡って活動を継続してきた現代劇の拠点「鳥の劇場」は、現代演劇の創造・発信の場であることを中心としながら、地域のにぎわいや交流の場、新しい学びや成長の場、障がいを抱える人との共生社会実現の場など、多様な機能を持つようになり、全国だけでなく、世界からも注目を集める新しいタイプの劇場として成長してきました。現在約一五名の俳優やスタッフがフルタイムで活動しています。この鳥の劇場が、令和三年度の文化庁補助金が得られなかったことにより、大きな資金難に直面しています。ぜひ皆さんからご寄付をいただき、活動の継続をご支援くださいますようお願いする次第です。

特定非営利活動法人鳥の劇場代表理事 中島諒人

寄付の方法についてはこちらをクリックしてください。

経緯

私ども鳥の劇場は、鳥取市鹿野町の旧鹿野小学校・幼稚園の施設を拠点として、演劇の劇場を運営しています。全国に劇場、ホールという名のつく場所はたくさんありますが、鳥の劇場のユニークな点は、劇団が運営する劇場であることです。演劇の専門家集団が作品創作を行い上演する日本でも数少ない場所として「鳥の劇場」があります。

私たちは、二〇〇六年からこの活動を開始し、地方での演劇活動の可能性と重要性にあらためて気づく中、この劇場で創作した作品を国内外で上演し、高い評価を得るだけでなく、多様な演劇活動を年間を通じて展開し、国際演劇祭「鳥の演劇祭」や子供向け人材養成事業の実施などにより、全国的にも大きな知名度を持つ場として育てることができました。現在約一五名の俳優、スタッフがフルタイムで仕事をしています。

最近では、学校教育における非認知能力（コミュニケーション能力など、人間の協働を支える根幹的力）への注目の中で、そういう力を育てる表現ワークショップを研究者と連携して開発・実施したり、障害のある人との演劇創作・上演にも挑戦しています。また、地域づくりのために町

づくり協議会等と濃密に連携するなど、心、体、知恵の全てを使って地域の未来づくりのために貢献する「新しい劇場」のあり方を全国に向けて発信しているところです。

我々のこの活動が、毎年獲得していた国（文化庁）からの補助金が今年度取れなかったことにより、財政的な危機に陥っています。まずは当初の年度計画を見直し、平井知事、地元選出国会議員からも更なる支援について御高配を賜っているところです。またサポーター（個人の寄付者）の方にも現状をご報告し、例年を上回るペースでご寄付をいただいております。さりながら現状では年度内の活動のためにまだ一千万円にも及ぶ不足が予想されます。

日本では、芸術は都市型の文化と考えられ、大都市でなければほとんど触れることのできないものでした。それは芸術の娯乐的側面のみに着目した商業性に偏りすぎたあり方でした。また、その帰結として、地方での文化芸術振興等の政策は自治体が主体となることとなってきました。しかし、日本が低成長の成熟社会となり、少子高齢化、人口減、社会的分断、さらにはコロナ禍

による将来不安の拡大を経験する中で、地方、民間の劇場にこそ、新しい社会的役割が期待されつつあります。

今、地域は、住民がそこで生きること誇りを持ち、自分で考え行動できる人材を育て、お金ではなく思いや情熱で人がつながって、東京とは異なる創造的で自律的な発展をしていくことが求められています。そのためには、民間による自由な芸術活動、とりわけ人が集い多くの熱量をやりとりする演劇（劇場）は、多様な役割（人材養成、国内外の多様な人や文化との出会いと交流、地域の魅力発信、誇りの醸成、社会課題や可能性の発見など）を果たしうるものです。それは「地方創生」という誰もが語り、しかし実際のところ誰もほとんど信じていることのできない言葉に、内実を与える起爆力を持っています。それは一五年間の活動を通じて、鹿野町の方々はもとより多くの皆さんに実感を伴ってご賛同いただけるものと自負しております。この蓄積を元に、今後もさらに活動を定着発展させ、鳥取県、山陰地方の発展のために可能な限り力を尽くしたいと劇団メンバー一同心を燃やしております。そこに今回の資金難が襲いました。

本事態を受けて、来年度以降の安定的運営のために、抜本的な財政基盤の強化を検討しているところ。また、活動の更なる深化・充実のために、数年先を目処に施設の大規模改修も検討しているところ。です。

が、まずは今年度を乗り越えなければなりません。これ以上予算を縮小し、決して高くない報酬にも拘わらず理想に燃えて活動してくれている一五名の俳優・スタッフの生活を危機に晒すことは、なんとしても避けなければなりません。是非ご寄付を賜り、我々の活動の継続をご支援くださいますようお願い申し上げる次第です。

寄付の方法についてはこちらをクリックしてください。